



すくやか

苅田町青少年育成町民会議だより

祝 苺田町青少年育成町民会議設立20周年記念

宮本延春 講演会

2009.1.31

苅田町青少年育成町民会議では、著書『オール1の落ちこぼれ、教師になる』で全国に知られる熱血人気教師、宮本延春先生をお迎えし、講演会を開催しました。宮本先生は、身振り手振りを加えながら、会場の皆様を引き込み、夢を持つことの大切さ、人との出会いの素晴らしさを熱く熱く語っていただきました。(関連記事 P2)

オープニングセレモニーは、苅田中学校リード部のハンドベルの演奏

“オール1先生”からのメッセージ
「人は、夢・目標があれば変われるんだ！」



心豊かでたくましい
青少年の育成を目指しましょう。*



子どもは、親の顔色を見ています。親が心に余裕を持ち、優しい微笑を浮かべていると子どもは必ず親に困ったことを相談してきます。子どもが相談してきたときは、「掃除や食事の支度の最中であっても、手を休め、子どもの側に座り、しっかりと耳を傾け、最後まで話を聴いてください。決して、子どもの話をさえぎって途中で意見を言うのはやめてください。親がまくし立てて話を聞きたことは絶対にしないでください。子どもは『〇〇ちゃんからいやなことを言われた。』など、自分の都合のよいことしか話しません。しかし、本来は本人に非があることもあります。話は、1日で聞きたそうとせず、じっくりと子どもと毎日話し合ってください。子どもがうそを言ってたりすると必ず矛盾点がでてきます。一番大切なことは、とにかく子どもの話を黙ってうなずきながら聴いて、聴いて、聴いてあげてください。「つらかったね」と共感することと「あなたの味方だよ」と言う言葉を常にかけてあげてください。

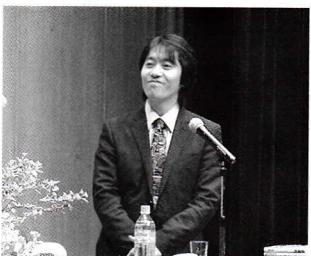
間違っても「何で今まで黙ってたの?」「そんなことで逃げてどうするの?」「あなたにも何か問題があるんじゃないの?」などと子どもを追い詰めることはやめてください。

~非行防止学習会のご案内~

福岡県では、青少年が抱える問題について経験豊富な講師の派遣を行っています。どなたでも活用できますので、詳細は下記にお気軽にお問い合わせください。

福岡県新社会推進部青少年課指導係

TEL 092-643-3388
FAX 092-643-3389
Eメール seisho@pref.fukuoka.lg.jp



確固たる夢をもてば、人は誰でも強く前向きに生きていくことができるんだと、みんなにそのことを伝えたい! 熱い拍手の中、講演が終了した。

(関連記事P.1)

ストップ非行県民運動

福岡県の刑法犯少年検挙補導者数は、平成15年から穏やかな減少を見せているものの、依然として全国的に高い水準で推移しています。

苅田町では、平成18年からモデル地域に指定され、ボランティアを中心とした街頭活動の強化や青色パトカーによる巡回活動を実施し、非行の減少を図っています。



夜間補導の様子 西部公民館にて

▽苅田町の刑法犯少年検挙人数

16年	17年	18年	19年	20年
110人	81人	78人	43人	32人



犯罪発生の減少に大きな成果

目標として、18,19,20年の3年間で16年度比30%減という期限設定で活動してきましたが、結果として(上記参考)71%減(△78人)という、目標値を大幅に上回る数値であったと思います。

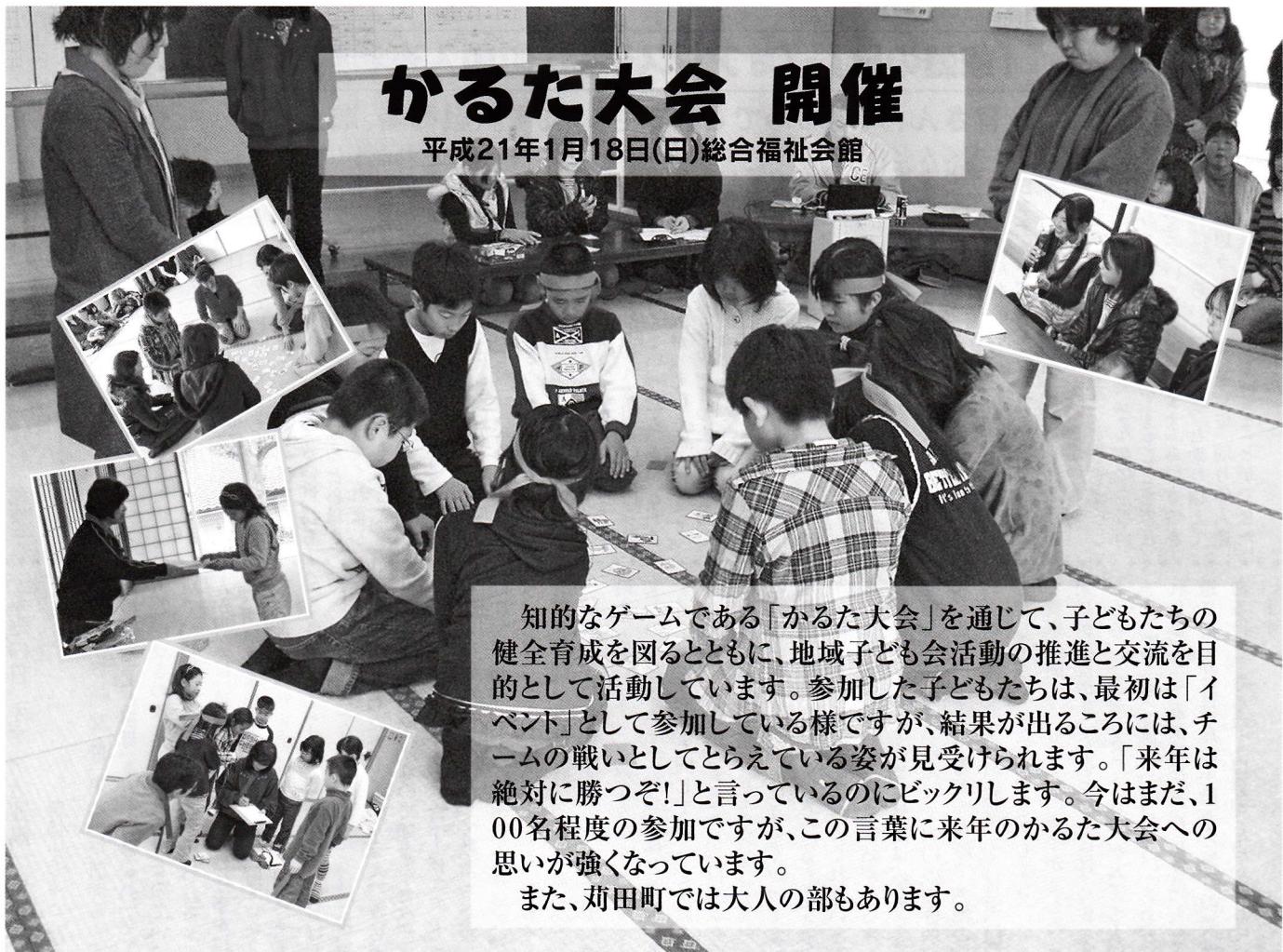
このように、これからも大きな成果をあげるために、行政と警察、学校が連携をして非行防止に取り組んでいきます。



宮本延春 講演会を振り返る

通信簿はオール1、落ちこぼれのいじめられた16歳で母親を亡くし、父親は重い病気になり、追いつた独りで社会の荒波に放り出され、不安と絶望で生きる気力さえも失くしかけていた。しかし、父兄は重い病気で社会の荒波に放り出され、不安と絶望で生きる気力さえも失くしかけていた。そこには、小学3年のドリルで基礎からの勉強。夢は膨らみ、中卒のオール1の学力の男が、そのうちに、骨身を惜しまず指導してくれたから「物理学を学びたい」という夢に向かって突き進む事になる。





知的なゲームである「かるた大会」を通じて、子どもたちの健全育成を図るとともに、地域子ども会活動の推進と交流を目的として活動しています。参加した子どもたちは、最初は「イベント」として参加している様ですが、結果が出るころには、チームの戦いとしてとらえている姿が見受けられます。「来年は絶対に勝つぞ!」と言っているのにビックリします。今はまだ、100名程度の参加ですが、この言葉に来年のかるた大会への思いが強くなっています。

また、苅田町では大人の部もあります。

バア～バアの一言 No.9



ある日の事、2,3歳の男の子が大きな袋を「よいしょ!よいしょ!」と持って、お母さんの後を歩いていました。多分、お母さんの手伝いをしていました。その子に小声で「すごいね」と声かけをすると、得意げにスマスマと歩いていきました。子ども達の未来も捨てたモンじゃないなあ～…と癒されました。

幼児～小学3年生位の頃は、お手伝いが大好きな時期です。手は取りますけど…。でもその後の「ありがとう」は子どもの成長には、とても大きいものがあります。奉仕の心等社会性を育てるには、この時期がいいのかなあ～と考えますね。大きくなってからは、させる方も体力と忍耐がいります。この時期はあそびながら学ばせるので、ストレスがたまりませんね。「ありがとう」の言葉は心豊かにまた生きがい的な感動をもたらしてくれます。よく母親が言っていました。「人の為になれ…」と。そこで感謝され、「ありがとう」が存在するのでしょうか。

将来、幸せになりたいですね～。「若い時には苦労をしない」とも言いますね。苦労は避けて通りたいですが「苦労の後には幸が…」と書いてある本を読みました。なんとなく納得。子どもの育児も苦労の工夫が大事かなあ～。とバア～バア～は感じますのじゃ…。おわり

子ども会をご存知ですか?



↑↓夜須高原にて



子ども会は子どもの組織とそれを育成する組織の2つがあります。前者を子ども会、後者を育成会と呼びます。自治会、町内の中に子ども会、または育成会として存在しています。育成者同士が共通課題を持ち、活動、運動をしています。子ども同士のかかわり、親同士のかかわり、親子間のかかわりなどで群れて遊ぶ大切さを知る場もあります。それらが町内の課題発見につながり、自治的集団への芽生えにもつながっています。

子ども会、育成会に入会して我が子にとって、地域にとって…の共通課題を発見、あるいは新しい人とのつながりを探しましょう。

中央公民館第1会議室
苅田町子ども会育成連合会
090-4589-3200
(田口まで)

ジュニア・リーダー募集中!



町内、京築、福岡…と活動が広がります。プログラムつくり、会の進行、危険予知などの研修会を重ね、イベントなどに参画していきます。社会性を育み、健全育成への影響は大きいものがあります。

対象者：新中学生、高校生

問合せ先：苅田町子ども会育成連合会

「家庭の日」・「オアシス運動」町内入選者発表

=前号のつづき=

※皆さん、入選おめでとうございます。(敬称略、順不同)

私はある日、朝からお母さんに怒られて、とても嫌な気分でした。でも学校に行くと、先生や友達が「おはよう」と声をかけてくれて、嫌なことも忘れて、とても明るい気持ちになります。

私はある日、朝からお母さんに怒られて、とても嫌な気分でした。でも学校に行くと、先生や友達が「おはよう」と声をかけてくれました。私はその日、あいさつをしてくれる人達のおかげで、明るく楽しい一日を過ごすことができました。家に帰るとお母さんがやさしく「おかえり」と言つてくれました。私は、朝が苦手なので朝食を食べずに部活に行きました。あいさつの力ってすごいな、と思いました。そして、自分も周りの人を明るい気持ちにしてあげることができたらいいなと思いました。

また、自分からあいさつをして、あいさつが返ってきた時も、とてもいい気持ちになります。あいさつは、周りを明るくすることもできるし、自分自身を明るくすることもできます。あいさつから生まれる明るい気持ちがもつとたくさん増えていくと思います。世界がどんどん広がっていくと思います。

だから、まずは自分からあいさつをたくさんしていきたいと思います。そして自分の周りの人達が、あいさつのすばらしさに気づいてくれたらしいな、と思います。

私はこれから、今までよりももっと、あいさつをたくさんしていきたいと思います。そして、自分が周りの人達にもあいさつっていいな、と思わせることができたらいいな、と思います。また周りの人達も、もつといろんな人達にあいさつのすばらしさを伝えてくれたらしいな、と思います。自分の周りの人達からそのまた周りの人達として学校全体と、どんどんあいさつのできる明るい国、そして、世界があいさつでいっぱいになつて、あいさつたら本当にいいな、と思います。

あいさつとは周りを明るくするすばらしいことです。私はこれから、どんなにつらいことがあります。生きていこうと思います。あいさつをしていれば、つらいことを乗り越えていけます。私はこれから、どんなんにつらいことがあります。

あいさつ

苅田中2年 成松 加奈子

「家庭の日、オアシス運動」

新津中2年 高田 真裕子

菅原小2年

木下萌梨

「おはようございます」

南原小2年 川口 幸紀

馬場小1年 木原康平

天空の
星辰

苅田中1年 千代丸彩夏

地域

苅田小6年 夢人

使命

苅田小5年 牧 植野聖也

仲間

苅田小4年 宮崎大志

大地

与原小3年 木下萌梨

そら

与原小2年 高橋

ほし

馬場小1年 木原康平

(作文は原文のまま掲載しています)



毎月
第3日曜日は
「家庭の日」



20年度 県入賞者

部門	賞	学校名	名前
標語	優秀賞	新津中2年	倉地 玲那
「」	奨励賞	新津中1年	鬼木 優花
ポスター	奨励賞	南原小1年	穴見 真菜
「」	奨励賞	南原小6年	嶋田有理奈
書道	奨励賞	新津中2年	西本 晴菜
		馬場小1年	久保田茜音

—「うち」の家庭教育をそれぞれつくろう—

沖縄修学旅行



中学生達は、2月下旬から3月上旬にかけて沖縄へ一泊二日の修学旅行に行つてきました。旅行中は晴天にも恵まれ「沖縄」を満喫することができました。

福岡空港から空路、那覇空港へ向かいました。初めて飛行機に乗る生徒がほとんどなので飛行機が離陸するときは大きな歓声が起りました。

今回の修学旅行の目的は、平和学習、沖縄の文化と歴史の学習そして沖縄の自然を体験するのです。

生徒達は事前に地上戦や在日米軍の基地問題などについて学習しました。実際に「糸数壕」や「沖縄県平和記念資料館」「平和の礎」「ひめゆりの塔」などを訪れることで、さらに「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」を感じることができました。

タクシー研修では「首里城」や「美ら海水族館」「万座毛」「道の駅かでな」など沖縄の文化や歴史、自然に関する施設を訪れました。

体験学習ではサトウキビを収穫し黒糖を作ったりシーサー作りをしたり、シーカヤックに乗つたりと沖縄の自然を満喫することができました。



“PTA文部科学大臣表彰受賞”

南原小学校PTAは、みんなが参加できる無理のない楽しいPTAをめざして次のような活動をしてきました。

- 地域と連携したバザーやあいさつ運動
- 子どもの安全確保活動の日常化の実践
(メール配信システムの構築と活用)
- PTA学校行事毎の役割を担う協力システム
- 自ら学び、自ら積極的に活動することをモットーに会員の資質向上をめざす取り組み
- 「基本的生活習慣」「食育」をテーマにした「新家庭教育宣言」の取り組み
- おやじの会による子どもの教育環境整備

このような取り組みが評価され、皇太子同妃両陛下ご臨席のもと今回の受賞となりました。

日時 平成20年11月20日
場所 ホテルニューオオタニ東京



△受賞報告のための町長表敬訪問



△運動会でのバザー協力



役員・委員講演会開催される

1. 日 時 平成21年2月26日(木)
2. 場 所 三原文化会館大ホール
3. 講 師 北九州市教育委員会
スクールガードリーダー 杉元 忍 氏
4. 演 題 『最近の社会情勢と青少年の非行について』



講演内容は、若年層の犯罪の多発など、現代社会を反映しての家庭教育のあり方、そして家庭・地域で子どもたちを守るために家庭・学校・地域住民・関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし多くの実例を交え、ご講演を頂きました。

当日大変お忙しい中、ご参加を頂いた皆様、ありがとうございました。

第20回 総会

白庭どんど焼補導

イカダ大会

子どもフェスティバル

オアシス人形劇

朝の声かけ運動

苅田町青少年育成町民会議 20年度1年間の活動 “継続は、力なり。”

編集後記

昨今、新聞紙上等で「食料需給率」という言葉をよく見かけるようになりました。食料需給率とは、我が国で消費される食料のうち、どの位が国内でまかなわれているかを表わしており、言いかえれば、国内で必要な食料をどの位外国に頼っているかと言うことでもあります。

現在、我が国の食料需給率40%、世界の主要な先進国の中でも最下位にあると言られています。食料需給の問題は、国の安全保障ともからめて大変重要な問題ですが、私を含めて大変位いるでしょうか。

一方、「食料廃棄率」25%、年間2千万トン前後が廃棄されており、食料輸入量が6千万トン位ですので、大量に輸入しては3分の1はゴミとして捨てていることになります。

将来予測されている気候の変動や人口の爆発は、深刻な食糧不足を招くと言われています。豊な社会や生活を否定する気は毛頭ありませんが、我々の命の糧となる食べ物に関しては、「もつたいない」と言つた古い価値観も大切にする必要があるのでないでしょうか。

20年度すこやか編集委員会
委員長 編集委員会
委員
金丸 三浦 石田 庄野 松枝
荒鬼 晴樹 正枝 和子 玲子
豊 晴樹 正枝 和子 玲子



編集・発行
苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
0934・9838